

関東信越厚生局長殿

学校法人 帝 京 大
理事長 冲 永 佳

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	152.2人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療の提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	347	3.5	350.5	看護業務補助	47	診療エックス線技師	
歯科医師	6	0.0	6.0	理学療法士	20	臨床検査技師	79
薬剤師	53	0.6	53.6	作業療法士	8	衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	12	その他	
助産師	46		46.0	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	1030	7.0	1037.0	臨床工学技士	46	医療社会事業従事者	6
准看護師	8		8.0	栄養士		その他の技術員	8
歯科衛生士	5	0	5.0	歯科技工士	1	事務職員	181
管理栄養士	6	0	6.0	診療放射線技師	51	その他の職員	13

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	869.3	3.7	873.0
1日当たり平均外来患者数	1,724.6	50.7	1,775.3
1に当たり平均調剤数	2,117.2		

- (注) 1 「歯科等」の欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調整延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	好塩基球ヒスタミン遊離反応によるアレルギー同定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
アレルギー患者の好塩基球ヒスタミン遊離試験は、血液を用いてアレルギー反応を体外で起こさせる試験法であり、患者に直接アレルギーを投与する必要がないので安全にアレルギーを同定できるという特徴を有する。一部の食物アレルギーに対してのみ保険適応がある。本試験法を用いて、本学の研究室内で、アナフラキシー既往を有する患者に対して本検査を行った。			
医療技術名	呼気一酸化濃度測定	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
気管支喘息患者では、呼気一酸化窒素濃度 (FeNO) が高値を示し、その測定は迅速な喘息診断に有用である。NIOX MINOを用いて、100秒で結果が得られ、外来診療でも測定可能である。COPDにおける喘息との鑑別や、呼吸機能検査が困難な妊婦症例での喘息診断においても有用である。			
医療技術名	インパルスオシロメトリー法による呼吸抵抗測定	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
インパルスオシロメトリー法は、安静呼吸でリアルタイムに呼吸抵抗を測定可能な機器である。Mostgraphを用いて、検査を行った。喘息、COPDにおける治療効果判定、鑑別に有用である。平成24年4月から保険収載された。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	194人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	45人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	80人	・原発性胆汁性肝硬変	39人
・全身性エリテマトーデス	192人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	36人
・再生不良性貧血	34人	・混合性結合組織病	14人
・サルコイドーシス	31人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・特発性間質性肺炎	18人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	102人	・網膜色素変性症	38人
・特発性血小板減少性紫斑病	59人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	25人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	78人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	12人	・慢性血栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	26人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	47人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	61人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	26人
・後縦靭帯骨化症	20人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	25人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	23人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	9人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	28人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
フェニルブチレート胆汁うっ滞抑制作用の検討	滝川 一	内科	¥900,000	補委 文部科学省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	滝川 一	内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	滝川 一	内科	¥150,000	補委 厚生労働省
医薬品開発のための副作用予測法・評価法の開発	滝川 一	内科	¥500,000	補委 (財)ヒューマンサイエンス振興
細胞死を感知し炎症を惹起する分子機構の解明	河野 肇	内科	¥1,130,000	補委 文部科学省
細胞死に対する自然炎症の機序の解明およびその調節リウマチへの関与	河野 肇	内科	¥2,400,000	補委 文部科学省
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	河野 肇	内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
動脈硬化の分子病態における自然免疫炎症の関与の検討	河野 肇	内科	¥2,000,000	補委 住友信託循環器学研究振興財団
動脈硬化における自然免疫炎症の関与とその制御	河野 肇	内科	¥1,000,000	補委 ノバルティス研究奨励
動脈硬化におけるチロシンキナーゼSykを介した自然免疫炎症の解明	河野 肇	内科	¥3,000,000	補委 武田科学振興財団
C. difficileと腸管内常在菌による腸管上皮細胞活性化の制御	太田康男	内科	¥1,600,000	補委 文部科学省
安全かつ効果的な抗HIV療法開発のための研究	太田康男	内科	¥4,000,000	補委 厚生労働省
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	太田康男	内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	大田 健	内科	¥12,674,000	補委 厚生労働省
重症・難治性喘息の病因・病態の解明に関する研究	大田 健	内科	¥500,000	補委 厚生労働省
新しい制御性T細胞対増幅法による喘息治療法の開発：喘息治療法の開発および確立に関する研究	大田 健	内科	¥600,000	補委 厚生労働省
成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する研究	大田 健	内科	¥7,590,000	補委 環境再生保全機構
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	江口研二	内科	¥32,000,000	補委 厚生労働省
低線量胸部CTによる肺がん検診の有効性評価のための無作為化比較試験	江口研二	内科	¥500,000	補委 厚生労働省
計算解剖モデルに基づく診断支援	江口研二	内科	¥780,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	山口正雄	内科	¥400,000	補委 厚生労働省
新しい制御性T細胞体外増幅法による喘息治療法の開発：ぜん息の治療法の開発及び確立に関する研究	山口正雄	内科	¥600,000	補委 厚生労働省
悪性胸膜中皮腫の診断および治療法の確立とアスベスト曝露の実態に関する研究	関 順彦	内科	¥16,000,000	補委 厚生労働省
アレルギー性炎症に及ぼす高血糖およびRAGEの作用解析と治療応用への試み	鈴川真穂	内科	¥1,200,000	補委 厚生労働省
尿細管イオン輸送体の機能発現を制御する機構の解明	種本雅之	内科	¥1,200,000	補委 厚生労働省
後天性血友病XIII(13)の実態調査、発症機序の解明と治療方法の開発	川杉和夫	内科	¥450,000	補委 厚生労働省
急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査	上妻 謙	循環器内科	¥1,000,000	補委 (独)国立循環器病研究センター
産業衛生の現場におけるうつ病の遷延化因子の解明と職場復帰プログラムの有用性の検討	中尾睦宏	心療内科	¥1,170,000	補委 文部科学省
非正規雇用により生じる社会経済格差が家族の健康に及ぼす影響	中尾睦宏	心療内科	¥200,000	補委 文部科学省
職場におけるメンタルヘルス対策の有効性と費用対効果等に関する調査研究	中尾睦宏	心療内科	¥200,000	補委 厚生労働省
新しい表面筋電図定量解析法、CI法の開発と臨床応用	園生雅弘	神経内科	¥1,400,000	補委 文部科学省
神経変性疾患に関する調査研究班	園生雅弘	神経内科	¥1,300,000	補委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	園生雅弘	神経内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
ジストログリカンの機能修復による筋ジストロフィーに対する治療戦略	松村喜一郎	神経内科	¥1,000,000	補委 文部科学省
ジストログリカンの翻訳後修飾の改変と筋ジストロフィー治療への応用	斉藤史明	神経内科	¥1,000,000	補委 国立精神・神経医療研究センター
ニューロパチーにおけるラミニンとジストログリカンの相互作用の解析と治療への応用	斉藤史明	神経内科	¥1,800,000	補委 文部科学省
肺腫瘍凍結治療の局所制御力向上を目指した治療支援シミュレーションシステムの構築	川村雅文	外科	¥500,000	補委 文部科学省
遺伝子発現に基づく直腸癌化学放射線療法照射効果予測キットによる個別化治療の確立	渡邊聡明	外科	¥2,500,000	補委 文部科学省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 潰瘍性大腸炎における炎症性発癌に対するサーベイランス法の確立	渡邊聡明	外科	¥1,000,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	渡邊聡明	外科	¥100,000	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの社会的普及と質の向上に関する研究	池田 正	外科	¥441,900	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	池田 正	外科	¥750,000	補委 厚生労働省
大腸癌における癌幹細胞様遊離癌細胞検出による再発予測診断と臨床応用	飯沼久恵	外科	¥650,000	補委 文部科学省
遺伝子発現解析によるStage II大腸癌再発ハイリスク例の選別法の確立	石原総一郎	外科	¥200,000	補委 文部科学省
マイクロアレイによる大腸癌Cetuximab療法の効果予測と効果規定遺伝子の検討	野澤慶次郎	外科	¥1,400,000	補委 文部科学省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	佐野圭二	外科	¥150,000	補委 厚生労働省
ヘパリン起因性血小板減少症の診断基準確立のための研究	下川智樹	心臓血管外科	¥400,000	補委 厚生労働省
医療事故における無過失補償の可能性と限界：諸外国および他分野における補償システムとの比較研究	木戸浩一郎	産婦人科	¥350,000	補委 厚生労働省
ヒトパピローマウイルスを標的とする発がん予防の研究	中川俊介	産婦人科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	中川俊介	産婦人科	¥800,000	補委 厚生労働省
ダウン症候群に合併する急性白血病に生じているゲノム異常に関する研究	菊地 陽	小児科	¥1,700,000	補委 文部科学省
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	菊地 陽	小児科	¥350,000	補委 厚生労働省
ダウン症候群でみられる一過性骨髄異常増殖症の重症度分類のための診断基準と治療指針の作成に関する研究	菊地 陽	小児科	¥150,000	補委 厚生労働省
Wilson病の肝癌発症の機序とその予防	児玉浩子	小児科	¥1,200,000	補委 文部科学省
Menkes 病・occipital horn 症候群の実態調査、早期診断基準確立、治療法開発	児玉浩子	小児科	¥10,000,000	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	阿部哲士	整形外科	¥150,000	補委 厚生労働省
黄斑変性カニクイザルを用いた補体抑制による加齢黄斑変性の予防薬の開発	溝田 淳	眼科	¥150,000	補委 厚生労働省
緑内障のmultiple rare variantsの発見と病態機序の解明による予防・治療法の開発	溝田 淳	眼科	¥150,000	補委 厚生労働省
重粒子線による悪性腫瘍の治療研究	溝田 淳	眼科	¥100,000	補委 (独)放射線医学総合研究所重粒子医学センター

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
次世代シーケンサーを用いたエクソーム配列解析による黄斑ジストロフィーの原因遺伝子と発生機序の解明	篠田 啓	眼科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	篠田 啓	眼科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
日本におけるハイブリッド型人工内耳の適応基準の提唱および蝸牛を保護する電極・術式・薬剤の開発	伊藤 健	耳鼻咽喉科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥150,000	補委 厚生労働省
多発性嚢胞腎における尿中分泌細胞小体の包括的解析	堀江重郎	泌尿器科	¥1,040,000	補委 文部科学省
高齢者に対する適切な医療提供に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥500,000	補委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	堀江重郎	泌尿器科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
酸化ストレスにより誘導されるアンドロゲンシグナルを標的とした前立腺癌治療の開発	井手久満	泌尿器科	¥1,200,000	補委 文部科学省
加齢による海綿体神経の機能回復低下機序の解明	久末伸一	泌尿器科	¥2,210,000	補委 文部科学省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	堀江重郎	泌尿器科	¥1,300,000	補委 文部科学省
Ras膀胱がんモデルにおけるテストステロンの関与	磯谷周治	泌尿器科	¥650,000	補委 文部科学省
「地域生活中心」を推進する、地域精神科医療モデル作りとその効果検証に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥10,000,000	補委 厚生労働省
麻酔による意識消失メカニズムの新たなる展開ー視床下部MCH産生細胞の役割ー	福田 悟	麻酔科	¥800,000	補委 文部科学省
医療の質・安全向上を目的としてシナリオをベースとしたフルスケールシミュレーターを用いた教育の有用性と遠隔教育の可能性	澤 智博	麻酔科	¥850,000	補委 厚生労働省
敗血症性脳症の病態におけるHMGB1の役割の解明	坂本英俊	麻酔科	¥1,600,000	補委 文部科学省
高齢者、障害者のスキューバダイビングにおける循環生理学的研究	伊佐地 隆	リハビリテーション科	¥3,120,000	補委 文部科学省
全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究	栢森良二	リハビリテーション科	¥30,000,000	補委 厚生労働省
心肺停止患者に対する心肺補助装置等を用いた高度救命処置の効果と費用に関するエビデンスを構築するための多施設共同研究	坂本哲也	救急科	¥10,064,000	補委 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	坂本哲也	救急科	¥400,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究	坂本哲也	救急科	研究者一括計上	補委 厚生労働省
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究	坂本哲也	救急科	¥500,000	補委 厚生労働省
円滑な脳死下臓器提供に資するための科学的分析に関する研究	坂本哲也	救急科	研究者一括計上	補委 厚生労働省
心肺蘇生開始までの時間短縮を目的としたファーストレスポonder体制の研究開発	坂本哲也	救急科	¥1,300,000	補委 総務省消防庁

小計4
合計82

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Lipid Res.	Cholesterol 25-hydroxylation activity of CYP3A	Honda A	東京医科大学茨城医療センター
Hypertens Res.	Sodium intake in men and potassium intake in women determine the prevalence of metabolic syndrome in Japanese hypertensive patients:OMEGA Study	Teramoto T	内科
Jpn Pharmacol Ther	A Large-Scale Survey on Cardio-Cerebrovascular Events During Pitavastatin(LIVALO Tablet)Therapy in Japanese Patients with Hypercholesterolemia-LIVALO Effectivenessand Safety Study Extension(LIVES Study Extension)-	Teramoto T	内科
J Atheroscler Thomb	APPROACH-J Study:Design,Rationale,and Baseline Data of the Affirmation Primary Prevention with Pravastatin in Reduction of Occlusive Atherosclerotic Complications in Hypercholesterolemia-Japan Study	Teramoto T	内科
日本内科学会雑誌	肺炎球菌性肺血症による電撃性紫斑病の1例	藤崎竜一	内科
血圧 臨床研究	高血圧患者に対するテルミサルタン(ミカルディス錠)の長期投与時の降圧効果と安全性の評価	小室一成	大阪大学
THERAPEUTIC RESEARCH	アトルバスタチン特定使用成績調査(ALWAYS)中間解析報告	寺本民生	内科
T.Pancreas. 2011 Nov;40(8):1302-6.	Gastric emptying in patients with autoimmune pancreatitis.	Anjiki H	内科
Nihon Rinsho. 2011 Jun;69(6):1072-4. Japanese.	[Treatment and prevention of NSAIDs-induced gastrointestinal injury--the role of gastroenterologist].	Yamamoto T	内科
International Archives of Allergy and Immunology	The in vitro Effects of Advanced Glycation End Products on Basophil Functions	Kaiyu Han M Suzukawa	内科
Allergology International	Time trend in the prevalence of adult asthma in Japan: Findings from population-based surveys in Fujieda City in 1985. 1999.and 2006	Y Fukutomi	国立病院機構相模原病院
Allergy	Prevalence and impact of rhinitis in asthma. SACRA, a cross-sectional nation-wide study in Japan	K.Ohta	内科
J Immunol	Leptin enhances survival and induces migration, degranulation, and cytokine synthesis of human basophils	Suzukawa M	内科
Allergology International	Some asthmatics show elevation of the peripheral venous oxygen pressure (PvO2)	Sano Y	佐野虎ノ門クリニック
Jpn J Clin Oncol. 2011;41:1177-81.	Introduction of endobronchial ultrasonography (EBUS) in bronchoscopy clearly reduces fluoroscopy time: comparison of 147 cases in groups before and after EBUS introduction.	Fujita Y	内科
J Thorac Oncol. 2011;6:156-60.	Long-term administration of second-line chemotherapy with S-1 and gemcitabine for platinum-resistant non-small cell lung cancer: a phase II study.	Takiguchi Y	Chiba University

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Immunol.	Enhanced cancer immunotherapy using STAT3-depleted dendritic cells with high Th1-inducing ability and resistance to cancer cell-derived inhibitory factors.	Tomoko Iwata-Kajihara,	Keio University School of Medicine
Int J Hematol.	The mechanisms of cancer immunoescape and development of overcoming strategies.	Yaguchi T	Keio University School of Medicine
Anticancer Research	Phase II study of Topotecan with Cisplatin in Japanese patients with small cell lung cancer.	Hosomi Y	Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital
Acad Rad	Influence of slice thickness on diagnoses of pulmonary nodules using low-dose CT.	M. Sinsuat	Institute of Technology and Science The University of Tokushima
Proc. SPIE Medical Imaging	Classification algorithm of lung lobe for lung disease cases based on multi-slice CT images.	M.Matsumoto	Institute of Technology and Science The University of Tokushima
J Palliative Med	Public awareness, knowledge of availability, and readiness for cancer palliative care services: A population-based survey across four regions in Japan.	K Hirai	Center for the Study of Communication Design
J Gastroenterol	Fever-based antibiotic therapy for acute cholangitis following successful endoscopic biliary drainage.	Kogure H	東京大学
Infection	Clinical features of Bacteroides bacteremia and their association with colorectal carcinoma	Yoshino Y	内科
Infect Chemother	The usefulness of changing focus during examination using Gram staining as initial diagnostic clue for infective tuberculosis	Atsukawa Y	内科
J Infect Chemother	Pseudomonas putida bacteremia in adult patients: five case reports and a review of the literature	Yoshino Y	内科
Clin Chem Lab Med	Evaluation of multiplex PCR using dual-priming oligonucleotide for the detection of vanA and vanB in vancomycin-resistant enterococci	Nagai R	東京大学
Infect Control Hosp Epidemiol	Pandemic 2009 Influenza A (H1N1) Virus among Japanese Healthcare Workers: Seroprevalence and Risk Factors	Nukui Y	東京大学
臨床血液 2011; 52: 18-22.	妊娠26週で発症した急性骨髄性白血病	田代晴子	内科
Eur J Haematol 86: 272-273, 2011	FLT3 internal tandem duplication is associated with a high relapse rate and central nervous system involvement in acute promyelocytic leukemia cases: single institutional analysis.	Tashiro H	内科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Int J Hematol 94:203-208, 2011	Vascular endothelial growth factor-C and its receptor type-3 expressed in acute lymphocytic leukemia cases with t(1;19).	Shirasaki R	内科
Leukemia Research 35: 663-669, 2011	Chronic myelogenous leukemia cells convert to myofibroblasts in vitro: Effect of vascular endothelial growth factor on development of the microenvironment.	Shirasaki R	内科
Psychotherapy and Psychosomatics	Anxiety as a predictor of improvements in somatic symptoms and health anxiety associated with cognitive-behavioral intervention in hypochondriasis.	Nakao M	心療内科
Psychosomatics	Responsiveness of hypochondriacal patients with chronic low-back pain to cognitive-behavioral therapy.	Nakao M	心療内科
Muscle Nerve	Origin of far-field potentials in the ulnar compound muscle action potential.	Sonoo M	神経内科
Clin Neurophysiol	"Clustering index method": a new technique for differentiation between neurogenic and myopathic changes using surface EMG.	Uesugi H	札幌麻生 脳神経外科病院
Muscle Nerve	Evaluation of spinal and bulbar muscular atrophy using the Clustering Index method.	Higashihara M	防衛医科大学校
Clin Neurophysiol	Decremental responses to repetitive nerve stimulation (RNS) in motor neuron disease.	Iwanami T	神経内科
Muscle Nerve	Fasciculation potentials in ALS and the diagnostic yield of the Awaji algorithm.	Higashihara M	防衛医科大学校
Clin Neurophysiol	Reference values for voluntary and stimulated single-fiber EMG using concentric needle electrodes: A multi-center prospective study.	Kokubun N	獨協医科大学
臨床神経	感覚障害を主徴とする橋・中脳梗塞: 診断的困難さとSEPの有用性.	北國圭一	神経内科
Biochem Biophys Res Commun.	Histone deacetylase inhibitor trichostatin A enhances myogenesis by coordinating muscle regulatory factors and myogenic repressors.	Iwanami T	神経内科
Biochem Biophys Res Commun.	Secretion of N-terminal domain of α -dystroglycan in cerebrospinal fluid.	Saito F	神経内科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Portal vein resection in pancreaticoduodenectomy (with video).	Amano H	外科
Surgery	Is spleen-preserving distal pancreatectomy with excision of the splenic artery and vein feasible?	Miura F	外科
Breast Cancer Res Treat 128:775-781 2011	Effects of toremifene and anastrozole on serum lipids and bone metabolism in postmenopausal females with estrogen receptor-positive breast cancer.: the results of a 2-year multicenter open randomized study.	Keisei Anan	北九州市立 医療センター

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Breast Cancer 19(1):1-3 2012 Jan.	Trends in local therapy application for early breast cancer patients in the Japanese Breast Cancer Society Breast Cancer Registry during 2004-2009.	Saji S	京都大学大学院 医学研究科
Cancer Science 103(3):491-496 2012 Mar.	Outcomes of Japanese breast cancer patients treated with pre- and post-operative anastrozole or tamoxifen: subgroup analysis of PROACT trial.	Yasuhiro Fujiwara	国立がん研究セ ンター中央病院
日本臨床外科学会誌 73(2), 285-292 2012	乳腺診療従事者に対する労働・生活環境の実態と意識に関するアンケート調査	阿南敬生	北九州市立 医療センター
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	Airway administration of dexamethasone, 3' -5' -cyclic adenosine monophosphate, and isobutylmethylxanthine facilitates compensatory lung growth in adult mice.	Y Takahashi	慶應義塾大学
Resiratology	KL-6 and CEA levels in epithelial lining fluid microsamples predict response to gefitinib in patients with advanced non-small cell lung cancer.	K Kamiya	横浜市民病院
Surgery Today	How many pathological T1N0M0 non-small cell lung cancers can be completely resected in one segment? Special reference to high-resolutionnal computed tomography findings.	H Horinouchi	さいたま市立病院
J Surg Res	The cytostatic effects of lovastatin on ACC-MESO-1 cells	K Asakura	相模原協同病院
Ann Thorac Surg	Needle-tract seeding after percutaneous cryoablation for lung metastasis of colorectal cancer	Y Yamauchi	静岡がんセンター
PloS One	Percutaneous cryoablation of pulmonary metatsases from colorectal cancer.	Y Yamauchi	静岡がんセンター
Chest	Percutaneous cryoablation for pulmonary nodules in the residual lung after pneumonectomy: report of two cases	Y Yamauchi	静岡がんセンター
Surgery Today	Pleural defect repair with the overlapping method using fibrin glue-coated collagen fleece	N Matsutani	外科
Ann Thorac Surg	Impact of hospital volume on chest tube duration, length of stay, and mortality after lobectomy	H Otake	外科
Oncolgy Report	Prognostic significance of PDCD4 expression and association with microRNA-21 in each Dukes' stage of colorectal cancer patients.	堀内 敦	外科
Endoscopy	Efficacy of probe-based confocal laser endomicroscopy for surveillance in ulcerative colitis endomicroscopy for ulcerative colitis surveillance.	渡邊聡明	外科
European Journal of Cancer	Differential gene expression signatures between colorectal cancers with and without KRAS mutations: Crosstalk between the KRAS pathway and other signaling pathways.	渡邊聡明	外科
Clinical Colorectal Cancer	Predicting ulcerative colitis-associated colorectal cancer using reverse-transcription polymerase chain reaction analysis.	渡邊聡明	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Clinical & Translational Oncology	Gene Expression Signature and Response to the Use of Leucovorin, Fluorouracil, and Oxaliplatin in Colorectal Cancer Patients.	渡邊聡明	外科
Gynecologic Oncology	Heterogeneous distribution of LOH (loss of heterozygosity) and tumor progression.	渡邊聡明	外科
International Surgery	Gene expression of mesenchyme forkhead 1 (FOXC2) significantly correlates with the degree of lymph node metastasis in colorectal cancer.	渡邊聡明	外科
Diseases of the Colon and Rectum	Gene expression of vascular endothelial growth factor a, thymidylate synthase, and tissue inhibitor of metalloproteinase 3 in prediction of response to bevacizumab treatment in colorectal cancer patients.	渡邊聡明	外科
The Anatomical Record	Genetic Instability in the Downregulation of sFRP1	渡邊聡明	外科
Diseases of the Colon and Rectum	Heterogeneity of KRAS status may explain the subset of discordant KRAS status between primary and metastatic colorectal cancer.	渡邊聡明	外科
Inflammatory Bowel Diseases	Interval of less than 5 years between the first and second operation is a risk factor for a third operation for Crohn's disease.	渡邊聡明	外科
International Journal of Clinical Oncology	Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2010 for the treatment of colorectal cancer.	渡邊聡明	外科
Surgical Practice	Use of computed tomography colonography to detect a synchronous early colorectal cancer in a patient with obstructive colorectal tumour.	渡邊聡明	外科
Medical oncology	Significance of microsatellite instability (MSI) for colorectal cancer following adjuvant therapy with doxifluridine.	渡邊聡明	外科
J Clin Oncol 2011;29:1547-55	Clinical significance of circulating tumor cells, including cancer stem-like cells, in peripheral blood for recurrence and prognosis in patients with Dukes' stage B and C colorectal cancer.	Iinuma H	外科
Oncol Rep 2012;27:947-53	Prognostic significance of CTCs and CSCs of tumor drainage vein blood in Dukes' stage B and C colorectal cancer patients.	Shimada R	外科
Oncol Rep 2012;27:1384-92	Prognostic significance of PDCD4 expression and association with microRNA-21 in each Dukes' stage of colorectal cancer patients.	Horiuchi A	外科
Ann Surg Incol 2011;47:1946-54	Radiation-Induced Apoptosis of Peripheral Blood Lymphocytes is Correlated with Histological Regression of Rectal Cancer in Response to Preoperative Chemoradiotherapy.	Ishihara S	外科
Int Surg 2011;96:207-16	Gene expression of mesenchyme forkhead 1 (FOXC2) significantly correlates with the degree of lymph node metastasis in colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Int Surg 2011;96:90-3	Perforation of the small bowel due to metastasis from tongue cancer.	Aoyagi Y	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Int Surg 2011;96:82-6	Invasive micropapillary carcinoma of the ascending colon—a report of a case.	Shibuya H	外科
Int Surg 2011;96:64-8	Two cases of diverticulitis in patients with Williams syndrome.	Yamada H	外科
Eur J Cancer 2011;47:1946-54	Differential gene expression signatures between colorectal cancers with and without KRAS mutations: crosstalk between the KRAS pathway and other signalling pathways.	Watanabe T	外科
Dis Colon Rectum 2011;54:1170-8	Heterogeneity of KRAS status may explain the subset of discordant KRAS status between primary and metastatic colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Dis Colon Rectum 2011;54:1026-35	Gene expression of vascular endothelial growth factor A, thymidylate synthase, and tissue inhibitor of metalloproteinase 3 in prediction of response to bevacizumab treatment in colorectal cancer patients.	Watanabe T	外科
Clin Trans Oncol 2011;13:419-25	Gene expression signature and response to the use of leucovorin, fluorouracil and oxaliplatin in colorectal cancer patients.	Watanabe T	外科
J Surg Oncol 2011;104:110	Is CD133 mRNA expression a prognostic factor in colorectal cancer?	Hayama	外科
Clin Colorectal Cancer 2011:134-41	Predicting ulcerative colitis-associated colorectal cancer using reverse-transcription polymerase chain reaction analysis.	Watanabe T	外科
Asian Pac J Cancer Prev 2011;12:335	Usefulness of the mononucleotide marker “BAT-26” for identification of microsatellite instability in colorectal cancers.	Watanabe T	外科
Int J Gynecol Cancer 21(5):859-863.	Diagnostic usefulness of intraoperative ultrasonography in avoiding unnecessary para-aortic lymphadenectomy in women with endometrial carcinoma.	Ryo E	産婦人科
日本婦人科腫瘍学会雑誌 29(3):691-696	妊娠中の子宮頸部細胞診の正診性に関する検討	竹下茂樹	産婦人科
東京産婦会誌 60(2):351-355	卵巣Sertori-Leydig細胞腫の1例	一瀬隆行	産婦人科
東京産婦会誌 60(3):493-497	妊娠悪阻による脱水と子宮筋腫による尿路圧迫から、水腎症・尿路感染症・敗血症をきたした一例	櫻井理奈	産婦人科
東京産婦会誌 60(4):576-579	卵巣嚢腫との鑑別が困難であった後腹膜嚢胞の2例	福井志保	産婦人科
千葉産婦誌 5(2):110-116	うまくいかなかった症例から学ぶ出血への対応	綾部琢哉	産婦人科
東京産婦会誌 61(1):141-144	胎児頻拍性不整脈に対して経胎盤的ジゴキシン投与を行った1例	堀晋一郎	産婦人科
Cephalalgia	Sumatriptan as a treatment for cyclic vomiting syndrome: A clinical trial.	Kikuchi A	小児科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Pediatr Blood Cancer	The utility of performing the initial lumbar puncture on day 8 in remission induction therapy for childhood acute lymphoblastic leukemia: TCCSGL99-15 study.	Kikuchi A	小児科
Int J Hematol.	Acute lymphoblastic leukemia and Down syndrome: the collaborative study of the Tokyo Children's Cancer Study Group and the Kyushu Yamaguchi Children's Cancer Study Group.	Kikuchi A	小児科
Int J Hematol.	Case series of pediatric acute leukemia without a peripheral blood abnormality, detected by magnetic resonance imaging.	Kikuchi A	小児科
Pediatr Blood Cancer	Rituximab and cyclosporine therapy for accelerated phase Chediak-Higashi syndrome	Kikuchi A	小児科
Pediatr Int	Hypothyroidism caused by iodine deficiency and iodine levels in enteral formulas.	Kodama H	小児科
東京都医師会雑誌 63(1):54-58,2010.1	「転倒・骨折を予防する」世界の転倒予防研究の現状	松下 隆	整形外科
臨床整形外科	変形性膝関節症または腰痛症に伴う慢性疼痛を有する患者に対するトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠の第Ⅲ相臨床試験 プラセボを対照としたランダム化治療中止二重盲検群間比較試験	松下 隆	整形外科
整形外科	形成不全股の治療—乳児から高齢者まで	中村 茂	整形外科
日本人工関節学会誌	解剖学的形状ステムを用いたセメントレス人工股関節置換術	中村 茂	整形外科
骨折 33(1):123-125,2011.2	大腿骨転子部骨折の骨接合術における外側壁骨折の予防	小林 誠	整形外科
整形外科最小侵襲手術 ジャーナル60:19-26,2011	上腕骨骨幹部骨折に対するMIPO	小林 誠	整形外科
日本創外固定・骨延長学会 雑誌	イリザロフ・ミニフィクセーターを用いて治療した第1中手骨近位部骨折の1例	加藤成隆	整形外科
骨折	中下位頸椎椎間関節脱臼に対する急性期非観血的整復術の検討	松井健太郎	整形外科
関東整形災害外科学会雑誌	肩のunhappy triadの1例	榎本雄介	整形外科
日本臨床スポーツ医学会誌	自家ハムストリング腱を用いた前十字靭帯再建術における腱採取方法の新しい試み	笹原 潤	帝京大学 医療技術学部
日本整形外科学会	脚長不同に対する下腿仮骨延長術における尖足変形:尖足防止足関節装具の有用性と限界	芳野 晃	整形外科
Orthopaedics	足底腱膜炎	高尾昌人	整形外科
下肢のスポーツ外傷と障害	スポーツ選手の足部痛. 5. 主な疾患の診療の進め方. 整形外科臨床パサージュ7	高尾昌人	整形外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
整形外科	緊張性気胸をきたした骨肉腫肺転移の1例	佐藤健二	整形外科
別冊整形外科	肩関節疾患における疼痛評価—知覚・痛覚定量分析装置を用いた客観的評価—	伊藤正明	整形外科
別冊整形外科 59:244-248,2011	<運動器疾患に対する最小侵襲手術>外科の新時代を拓く half-millimeter microsurgery	黒島永嗣	整形外科
Bone Joint Nerve	主なDMARDs(疾患修飾性リウマチ薬)の使い方	西村慶太	整形外科
Bone Joint Nerve	関節リウマチは風土病か?	西野仁樹	整形外科
Bone Joint Nerve	リウマチ因子陽性はリウマチ?	西野仁樹	整形外科
Bone Joint Nerve	GuidelineとArt of Medicineの狭間で...	西野仁樹	整形外科
American Journal Sports Medicine 39, 575-581, 2011	Endoscopic surgery for young athletes with symptomatic unicalcaneal bone cyst of the calcaneus	Innami K	整形外科
Foot Ankle International 32, 211-214, 2011	Interposition of the extensor digitorum longus tendon after resection arthroplasty of lesser metatarsophalangeal joints for rheumatoid forefoot deformity	Miyamoto W	整形外科
Foot Ankle International 32(4), 448-451, 2011	Valgus deformity of the interphalangeal joint by reversed sliding osteotomy of the proximal phalanx: A case report.	Kubo M	整形外科
Journal of Orthopaedic science	Equinus deformity during tibial lengthening with ankle orthoses for equalization of leg-length discrepancies	Yoshino A	整形外科
Journal of Orthopaedic science	Synovial hemangioma of the hip joint with pathological femoral neck fracture and extra-articular extension	Abe S	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 19, 691-695, 2011	Anatomical reconstruction of the anterior inferior tibiofibular ligament for chronic disruption of the distal tibiofibular syndesmosis	Yasui Y	整形外科
日本形成外科学会誌	上口唇に発生したメルケル細胞癌の1例	加納麻由子	形成外科
J Craniofac Surg	Straightforward factors for predicting the prognosis of blow-out fractures	Higasino T	東京大学
日本形成外科学会誌	C型肝炎に合併した粘液水腫性苔癬の1例	篠田大介	形成外科
PEPARS	脂肪由来幹細胞移植—Cell-assisted lipotransfer(CAL)による乳房再建	浅野裕子	形成外科
医学のあゆみ	脂肪注入移植法を用いた乳房再建	吉村浩太郎	東京大学
これからの乳癌診療2011-2012	乳房温存手術後の変形に対する脂肪移植	浅野裕子	形成外科
乳癌の臨床	乳房温存手術後の欠損部補填法	浅野裕子	形成外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
形成外科	乳房部分切除後変形に対する脂肪幹細胞加脂肪移植による再建	浅野裕子	形成外科
PEPARS	脂肪組織由来幹細胞付加脂肪移植による軟部組織増大術	浅野裕子	形成外科
Plastic and Reconstructive Surgery	Mammographic Changes after Fat Transfer to the Breast Compared with Changes after Breast Reduction: A Blinded Study	J.Peter Rubin	University of Pittsburgh
J Biosci Bioeng. 2012 Feb;113(2):252-7 Epub 2011Dec3.	Evaluation of the implant type tissue-engineered cartilage by scanning acoustic microscopy	Tanaka Y	東京大学
日本眼科学会雑誌	若年者の増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術治療と術後合併症	臼井亜由美	順天堂大学医学部附属浦安病院
神経眼科	特集:電気生理と神経眼科序論	溝田 淳	眼科
神経眼科	特集:電気生理と神経眼科「VEPと神経眼科」	松本 惣一 セルソ	眼科
あたらしい眼科 メディカル葵出版	特集 遺伝性網膜・黄斑ジストロフィーアップデート X染色体劣勢若年網膜分離症 (先天網膜分離症)	篠田 啓	眼科
あたらしい眼科 メディカル葵出版	特集●眼の腫瘍—最近の考え方— 「ぶどう膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療の適応と限界」	溝田 淳	眼科
眼科	特集 眼科最新手術 眼瞼下垂の簡略術式	根本 裕次	眼科
眼科	眼外療法に伴う眼の副作用 4. 放射線治療に伴う眼障害	溝田 淳	眼科
眼科臨床紀要	麻痺性斜視の一般的手術法	林 孝雄	眼科
Doc Ophthalmol.	Oguchi disease masked by retinitis pigmentosa	Sonoyama H	Ideta Eye Hospital
Case Report Ophthalmol.	Focal Functional and Microstructural Changes of Photoreceptors in Eyes with Acute Zonal Occult Outer Retinopathy	So K	眼科
Mol Vis.	Transcriptional Factors Associated with Epithelial-Mesenchymal Transition in Choroidal Neovascularization	Hirasawa M	Keio University School of Medicine
J Ocul Pharmacol Ther	Incidence of Increased Intraocular Pressure after Subtenon Injection of Triamcinolone Acetonide	Kawamura R	Keio University School of Medicine
Case Reports Ophthalmol	Outer Retinal Microstructure in Case of Acute Idiopathic Blind Spot Enlargement Syndrome	Sugahara M	Inoue Ganka Clinic
Arch Ophthalmol	Fundus Autofluorescence in Occult Macular Dystrophy	Fujinami K	National Laboratory of Visual Physiology

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Case Reports in Ophthalmology	Two cases of unusual protrusion of conjunctiva in two neonates with Harlequin Ichthyosis	Hazuku T	Oita University
Clin Ophthalmol	High Correlation of Scotopic and Photopic ERG Components with Severity of Ocular Circulation Disturbances Following Central Retinal Artery Occlusion.	Matsumoto CS	眼科
Electroretinograms	Objective Assessment of Local Retinal Function by Focal Macular and Multifocal Electroretinograms	K Shinoda	眼科
Case Reports in Ophthalmology	Case of Unilateral Peripheral Cone Dysfunction	Y Moshizuki	Juntendo University Urayasu Hospital
Journal of Vision	Stiles-Crawford effect in focal macular ERGs from macaque monkey	Matsumoto CS	眼科
Retinal Cases & Brief Reports	Simultaneous bilateral central retinal artery occlusion in Churg-Strauss syndrome	Akiyama Y	眼科
Retinal Cases & Brief Reports	Vitreotomy for Proliferative Retinopathy in Patient with advanced Duchenne Muscular Dystrophy	So K	眼科
口腔・咽頭科	簡易モニター・オートPAPのピットフォール	鈴木雅明	耳鼻咽喉科
Immunobiology.	Increased serum leucine, leucine-37 levels in psoriasis: positive and negative feedback loops of leucine, leucine-37 and pro- or anti-inflammatory cytokines.	Kanda N	皮膚科
J Leukoc Biol.	Human β -defensin-2 enhances IFN- γ and IL-10 production and suppresses IL-17 production in T cells.	Kanda N	皮膚科
Endocrinology	Visfatin Enhances CXCL8, CXCL10, and CCL20 Production in Human Keratinocytes.	Kanda N	皮膚科
J Invest Dermatol	High calcium, ATP and poly(I:C) augment the immune response to β -glucan in normal human epidermal keratinocytes.	Hau C	東京大学
Clin Exp Dermatol	Serum Lipocalin-2 levels are increased in patients with psoriasis patients.	Kamata M	東京大学
Immunobiology	Increased serum human β -defensin-2 levels in atopic dermatitis: relationship to IL-22 and oncostatin M.	Kanda N	皮膚科
Allergy	Decreased serum LL-37 and vitamin D3 levels in atopic dermatitis: Relationship to IL-31 and oncostatin M.	Kanda N	皮膚科
Clinical Journal of American Society of Nephrology.	TEMPO Formula and 156-05-002 Study Investigators. Tolvaptan in autosomal dominant polycystic kidney disease: three years' experience. Clinical Journal of American Society of Nephrology.	Horie S	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Urology	Japanese Society of Renal Cancer. Late recurrence of renal cell carcinoma: retrospective and collaborative study of the Japanese Society of Renal Cancer.	Horie S	泌尿器科
Clinical and Experimental Nephrology.	The relationship between renal volume and renal function in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Horie S	泌尿器科
Cancer Sci.	Testosterone augments polyphenol-induced DNA damage response in prostate cancer cell line, LNCaP.	Horie S	泌尿器科
Asian J Endosc Surg.	Clinical and safety profiles of bipolar transurethral vaporization of the prostate in saline: A preliminary report	Horie S	泌尿器科
Korean J Urol.	Clinical and safety profiles of bipolar transurethral vaporization of the prostate in saline: A preliminary report	Horie S	泌尿器科
Prostate.	Testosterone promotes DNA damage response under oxidative stress in prostate cancer cell lines.	Horie S	泌尿器科
精神保健研究	認知機能リハビリテーションの地域における展開	池淵恵美	精神神経科
デイケア実践研究	デイケアにおけるSST	池淵恵美	精神神経科
精神神経学雑誌	モデルプログラムとそれを支えるスタッフ研修	池淵恵美	精神神経科
精神神経学雑誌	中・長期の被災地支援—地域生活支援とリハビリテーションの視点から—	池淵恵美	精神神経科
Cephalalgia 31(Suppl.1)2011.P124	Frovatriptan vs. Zolmitriptan in the acute treatment of menstrually-related migraine: analysis of a double-blind, randomized, multicenter, comparative study	Asano S	脳神経外科
Acta Neurol. Belg., 2011, 111, 213-216	Importance of the initial grade of subarachnoid hemorrhage in the patients with the age of 80 years and older from a single center analysis	Asano S	脳神経外科
脳卒中の外科第40巻1号 19-23 2012	脳動脈瘤治療の入院医療費—コイル塞栓術とクリッピング術との比較	上野俊昭	脳神経外科
Nihon Rinsho.	[Prevention of radiation damage in interventional radiology (IVR)].	Kotoku J	帝京大学 医療技術学部
AJNR Am J Neuroradiol	Characteristics of intravascular large B-cell lymphoma on cerebral MR imaging.	Yamamoto A	放射線科
Jpn J Radiol.	Chondromyxoid fibroma of the rib with prominent exophytic configuration.	Yamamoto A	放射線科
Pacing Clin Electrophysiol.	Entrance skin dose during radiofrequency catheter ablation for tachyarrhythmia: a multicenter study.	Kidouchi T	東京大学
皮膚科の臨床	関節リウマチ患者にQueyrat紅色肥厚症と多発性の日光角化症を併発した1例	大島昇	国立病院機構 相模原病院

雑誌名	題名	発表者	所属部門
泌尿器外科	3か月のMAB療法による前立腺体積の縮小効果 フルタミドとビカルタミドの比較検討	津坂恭央	東京警察病院
臨床放射線	当施設で経験した頭頸部領域のIgG4関連疾患	大原有紗	杏林大学
Therapeutic Research	慢性透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対するビタミンD3静注薬が脂質代謝および心血管病変に及ぼす影響	野坂仁也	内科
医学のあゆみ	顔面神経麻痺のリハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
JOHNS	顔面神経麻痺後病的共同運動の治療は?	栢森良二	リハビリテーション科
Clinical Neuroscience	表情筋に筋紡錘がないことは本当ですか?	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	術後性完全顔面神経麻痺の針筋電図による機能予後の診断	栢森良二	リハビリテーション科
臨床神経生理学	顔面神経障害の機能評価	栢森良二	リハビリテーション科
日本マイクロサージャリー学会誌	顔面神経麻痺のリハビリテーション:末梢性と中枢性アプローチ	栢森良二	リハビリテーション科
臨床シミュレーション研究	脳卒中初期診療シミュレーション研修における症例検討トレーニング(第1報) クリニカルマップを用いたグループワーク	安心院康彦	救急科
整形・災害外科	寛骨臼骨折の合併症とその対策	新藤正輝	救急科 (外傷センター)
マルホ整形外科セミナー	骨折治療における深部静脈血栓・肺血栓塞栓症	新藤正輝	救急科 (外傷センター)
骨折	下腿遠位部骨折に対する前外側プレートの適応	黒住健人	救急科 (外傷センター)
レジデント	手指足趾に起こりやすい問題	黒住健人	救急科 (外傷センター)

小計14
合計200

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中込 忠好
管理担当者氏名	医事課 飯塚裕之, 診療情報管理部 小笠原后香, 総務課 稲垣宏治 患者相談室 内田れい子, 薬剤部 渡邊真知子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等(紙カルテ)は年度別・科別・アドレス順フィルムはターミナルデジット方式 その他については年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理部 総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理部 総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理部 総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課 医薬情報センター
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	稲垣 宏治、飯塚 裕之、小笠原 后香
閲覧担当者氏名	稲垣 宏治、飯塚 裕之、小笠原 后香
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別 (全職員メールや電子カルテにて 参照可能)	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	55.6 %	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数		14,585 人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,674 人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,232 人
	D : 初診の患者の数		45,967 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的な考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした、事故報告書にもとづく改善策の立案、実施に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 病院職員と患者の情報共有に関する基本方針 7. 患者と家族への説明と同意に関する基本方針 8. 患者と家族等からの相談への対応に関する基本方針 9. 安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見直しと周知の方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理対策の推進 2. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 3. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 4. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 5. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 6. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 7. 発生した医療事故の原因究明の確認および指導 8. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・研修の主な内容</p> <p style="text-align: center;">別 紙 参 照</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(4 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(7 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員：専任(4)名 兼任(16)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理対策の推進 2. 安全管理部会のおよび臨時の安全管理委員会の開催 3. リスクマネージャー会議を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底 4. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 5. 院内各部署への立ち入り調査と関係書類の調査 6. 安全管理に関わる関係部署との連絡調整 7. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 8. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 9. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 10. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 11. 発生した医療事故の原因の究明および指導 12. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 13. 安全管理委員会、安全管理部会リスクマネージャー会議の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

医療に係わる安全管理のための職員研修会(平成23年度)

研修区分	開催年月日	時間	テーマ
新人身職員オリエンテーション	2011/4/1	14:00~14:30	安全管理体制について 講師:江口管理担当副院長
臨床研修医基礎研修	2011/4/1 ~ 2011/4/23 上記のうち9回	1時間~2時間程度	放射線の安全取扱各論 院内急変への対応 医療過誤および異常死の取り扱い 医薬品安全情報について インシデントレポートについて 医療事故防止 患者確認実習 暴力行為への対応 リスクマネジメントについて
看護師新入職者研修会	2011/4/4 ~ 2011/4/14	1時間程度	事故防止総論 内服について 点滴について 採血・検体容器 BSチェックについて 注射について インシュリンについて 酸素ポンベの取り扱いについて 輸血ポンプ シリンジポンプ KYTについて 経管栄養について 転倒・転落防止について チューブトラブルについて
臨床研修医定期研修	毎月第3金曜日	12:00~13:00	安全管理総論 薬剤について インシデント・アクシデント報告より 安全管理部ラウンド結果 医療事故ニュース 安全管理マニュアル改訂について 報告書システムについて 麻薬について 薬剤認証について 転倒について RCA分析
第1回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会 (ビデオ研修会含む)	2011/6/10 2011/6/27 2011/7/5~7	17:30~19:00	医療機関のモデル事業参加について 講師:モデル事業調整看護師 日留川支子
第2回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会 (ビデオ研修会含む)	2011/11/22 2011/12/14 2011/12/20 2011/12/22	17:30~18:30	医薬品の安全使用と副作用報告制度について 中心静脈カテーテル挿入に関するガイドライン改訂について
医療安全に関する研修会	2012/1/12	17:30~18:30	いつか大事故が起こる 平穩無事は危険信号 講師:船橋市立医療センター 唐澤秀治
第3回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会 (ビデオ研修会含む)	2012/2/29	17:30~18:30	医薬品の安全使用ハイリスク薬 開放式ドレーン腹腔内留置マニュアルについて

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会および組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のため職員研修に関する基本指針 4. 院内感染発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策のための指針および院内感染対策要綱の見直しと周知の方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 1. 院内における感染症の発生状況の把握 2. 発生した感染症への対応策の一般的・個別的コンサルテーション 3. 院内感染症の発生予防と対応に関する情報の収集と提供 4. 院内感染症の発生予防の具体策の提案 5. 院内感染症の発生予防に関する教育 6. 院内感染症に関する研究 7. その他重要な感染症に関する情報の収集と教育、対策の	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
・研修の主な内容 <p style="text-align: center;">別 紙 参 照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院何感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 ・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ○感染制御部・感染制御委員会において感染症発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する。	

院内感染対策に関する職員研修会(平成23年度)

研修区分	開催年月日	時間	テーマ
新人身職員オリエンテーション	2011/4/2	10:40~11:00	院内感染対策について 講師:感染制御部長
臨床研修医基礎研修	2011/4/11 2011/4/12	15:10~16:00 9:00~9:50	感染症診療について 講師:感染制御部長 感染制御実習 講師:感染制御部長
新規入職者に対する病院の院内感染対策	2011/5/24	18:30~19:00	院内感染対策について 講師:感染制御部長
第1回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会(ビデオ研修会含む)	2011/6/10 2011/6/27 2011/7/5~7	17:30~19:00	標準予防策・N95マスクの正しい使い方 講師:山本藤乃 指定抗菌薬の届け出/TDM 講師:岡田雄介
第2回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会(ビデオ研修会含む)	2011/11/22 2011/12/14 2011/12/20 2011/12/22	17:30~18:30	標準予防策・感染経路別予防策について 講師:山本奈々子 冬に注意すべき感染症について インフルエンザウイルス・ノロウイルス 講師:本橋友美子
第3回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会(ビデオ研修会含む)	2012/2/29	17:30~18:30	サーベイランスの報告(年度末報告) 講師:菊地智美

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・活動の主な内容 <p style="text-align: center;">別紙参照</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 1. 医薬品の安全管理対策の推進 2. 定例医薬品安全管理委員会の開催および臨時の医薬品安全管理委員会の開催 3. 職員に対する医薬品の安全使用のための研修会の開催およびその内容の記録 4. 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の策定、見直しおよびそれに伴う庶務に関すること。 5. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集と職員への周知徹底 6. その他医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施 7. 医薬品安全管理委員会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること。 8. その他医薬品安全管理委員会が認めたもの。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集初他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ○各メーカーのMR・ホームページ、医薬品医療機器情報提供ホームページより情報を収集し、各部署へDIニュースとして発信、研修会の実施。	

医薬品の安全使用のための職員研修会(平成23年度)

研修区分	開催年月日	時間	テーマ
研修医基礎研修	2011/4/8	13:00~15:00	薬剤部案内と医薬品安全情報について 講師:細野薬剤部副部長、山内係長
第3回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会 (ビデオ研修含む)	2011/3/4 2011/5/13 2011/5/19	17:30~18:50	医薬品の安全使用について 講師:安藤薬剤師

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
② 従業員に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回		
<p>・活動の主な内容</p> <table border="0"><tr><td data-bbox="188 376 606 649">1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射</td><td data-bbox="702 492 925 526">の取り扱いについて</td></tr></table>		1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射	の取り扱いについて
1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射	の取り扱いについて		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none">1) 使用前、使用中、使用後の点検2) 1週間～1年の定期点検3) 点検方法は各医療機器の取扱い説明書を参考に実施している。 メーカー主催のメンテナンス講習会に参加し修了証書を受けたものが中心となり実施している。			
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療関いの安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○メーカーからの情報提供やインターネットの医療機器安全性情報等を収集し、安全管理部と相談し、電子カルティンフォーメーションを通じて通達を出している。</p>			